

生活単元学習 学習指導案

1 単元名 ○○すごろくを作ろう

2 単元について

本学級は知的障害学級が在籍している。個々の発達段階は大きく異なり、一人一人の課題に合わせた学習を行っている。

本学級の児童は、それぞれの交流学級で友達と一緒に学習したり、給食を食べたりしているが、自分から友達に声をかけたり、何かを伝えたりすることは少なく、関わりが受け身になることが多い。そこで、昨年度から、学習発表会で特別支援学級単独での発表に挑戦することにした。児童は、おみせやさん遊びを通して大勢の友達や普段あまり接点のない来校者とも楽しく交流でき、人と関わる上での大きな自信につながった。

今年度の学習発表会では、○○学級紹介すごろくを作り、たくさんの人とすごろく遊びを楽しむ機会を設定したいと考えている。すごろくの中には、自己紹介や○○学級での学習の様子等を取り入れ、○○学級のことをより多くの人に知ってもらえるようなすごろくを作る。自己紹介では、好きな食べ物や好きな動物等、自分のことで紹介したいことを考えてすごろくに取り入れるようにする。学級紹介では、野菜栽培や買い物学習等○○学級での学習の様子や、げんきキャンプやげんき交流会等○○学級ならではの行事をすごろくの中で紹介する。すごろく遊びを通して、自分たちの頑張りとよさを発信することの楽しさを味わってほしいと考える。

すごろくは、マスの数や書き込む内容を変えることで、個々の実態に合わせながら柔軟に難易度を変えることができるというよさがある。A児はマスの数が少ないすごろくや、動物や食べ物の絵がついたすごろくを使って遊ぶことが多い。B児、C児は、マス目の多いすごろくで指示に従ったり、クイズに答えたりしながら進むすごろくが好きである。

また、すごろくには、数や数字に親しむ算数的な要素やすごろくの中に書かれている指示を声に出して読んだり、理解したりする国語的な要素が含まれている。A児は、算数の時間にすごろくを使って6までの数を学習している。さいころの目を数えたり、すごろくのマスに数字を書き込んだりしながら楽しく学習してきた。大きな声でマスに書かれたキーワードを読み上げ、すごろく遊びを楽しむ姿が見られるようになってきた。前期の自立活動の学習「夏休みの健康的な過ごし方を考えよう」で、B児は、すごろくの指示に従って自分の知っていることを積極的に発言しながら楽しくすごろくで遊ぶことができた。C児は、すごろくで使うさいころを作ったり、漢字すごろくを使って漢字の学習をしたりしている。漢字に対して苦手意識をもつC児にとって、すごろくを使いながら漢字の学習をすることで漢字に親しみをもつことができた。

児童は、すごろくのルールを理解し、それらのルールを守って楽しく遊ぶことを通して、友達と仲良くすることやルールを守ることの大切さに気づくことができると考える。すごろくを作る過程においても、随時すごろくで遊ぶ時間を設けていく。児童が、すごろくの完成を心待ちにし、もっと楽しいすごろくを自分たちの手で作り上げていきたいという意欲の高まりに繋げていきたいと考える。

このように、すごろくには様々なよさがあり、児童にとって馴染みのあるものである。本単元では、本学級の児童一人一人の得意なことや頑張っていること、学習や行事の思い出等を盛り込んだ○○学級オリジナルのすごろくをみんなで協力して作る学習に取り組む。学習発表会で自分たちが作ったすごろくを使って自分たちの良さや頑張りを発信することやたくさんの人とすごろく遊びを楽しむという目的意識をもたせながら、学習を進めていきたい。また、次単元では、校内の先生を招待してすごろくで遊んだり、学習発表会での流れや自分の役割を練習したりして、学習発表会に向けた学習に取り組むようにする。

3 単元の目標

- ・すごろくを作ったり、それを使って遊んだりする活動に意欲的に取り組むことができる。
(主体的に学習に取り組む態度)
- ・友達と一緒に、ルールを守って楽しく遊ぶことができる。(主体的に学習に取り組む態度)
- ・字を書いたり、写真を貼ったりして、丁寧に作業を進めることができる。(知識・技能)
- ・どのようなすごろくにするのかを考え、相談しながら決めていくことができる。(思考・判断・表現)
- ・すごろくに使いたい写真を選んだり、紹介したりすることができる。(思考・判断・表現)

4 児童の実態と個別目標

	児童の実態	目標
A児	<ul style="list-style-type: none"> ・すごろく遊びが好きである。 ・新しいものを使った遊びは慣れるまで戸惑うことが多い。 ・写真を見ながら友達の名前を言うことができる。 ・大きな文字で書かれたひらがなの清音を読むことができる。 ・手先が不器用である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すごろく作りやすごろく遊びを楽しむことができる。 ・写真を見て、自分と友達の写真を分けることができる。 ・写真を紹介することができる。
B児	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気づきや意見を積極的に発表することができる。 ・朝の会のスピーチでは、メモを見ながら発表する練習に取り組んでいる。 ・文字を書いたり紙を切ったりする作業全般が雑になることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなすごろくにすると楽しいのかを考え、発表することができる。 ・メモを見ながら、写真の紹介をすることができる。 ・すごろく作りの作業を丁寧に進めることができる。
C児	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で自己選択をする経験が少ない。 ・文章を書くことが好きで、文章の型を参考にしながら書く練習をしている。 ・発表原稿を作ることで、自信をもって発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複数枚の写真の中からお気に入りの写真を選ぶことができる。 ・選んだ理由も含めて何をしている写真なのかを紹介することができる。

5 単元の指導計画(10時間扱い)

次	時	主な学習活動	指導や支援の手立て	他教科との関連
考 え る	1	<ul style="list-style-type: none"> ○けんこうすごろくで遊ぶ。 ○すごろく作りの流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すごろく遊びを楽しみ、かもめっ子すごろくを作ろうという意欲をもたせる。 ・学習発表会でみんなと一緒に遊ぶためのすごろくを作ることを知らせる。 ・単元全体の見通しがもてる 	

			<p>ように、拡大した学習予定表を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作るすごろくの大きさをイメージできるように、実物大の紙を用意し、提示する。 	
2	<p>○どのようなすごろくにするのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見る。 ・どのようなことを紹介したいのか考える。 ・「1回休み」「2マス進む」等、すごろくの中に入れる指示を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったことや頑張ったことを思い出せるように写真を用意する。 ・どのような指示があると楽しいすごろくになるかを考えることができるように、例として「けんこうすごろく」を提示する。 	<p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○、□、△の形に分ける。 ・色分けや大きさ比べをする。 ・○、□、△の形をかく。 (A児) ・コンパスや定規を使ってすごろくのマス进行をかく。(C児) ・さいころを作る。(C児) <p>【図工】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すごろくのマス目を切って貼る。 ・すごろくのこまを作る。 (A・B・C児) <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お気に入りカード」を書く。 (A・B・C児) 	
2	<p>3 ○すごろくを作る。</p> <p>【自己紹介編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰が写っている写真なのかを見極めて分類する。 <p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分類した写真の中から写真を選ぶ。(第一次選択) A 児 2枚選ぶ。 B 児 6枚選ぶ。 C 児 6枚選ぶ。 ・写真を選ぶ(第二次選択) A 児 2枚から1枚を選ぶ。 B 児 6枚から1枚を選ぶ。 C 児 6枚から1枚を選ぶ。 ・写真を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分類するテーマを示す。「○○さんの写真」 ・写真を分類し、どのような写真があるのかを認識しやすくする。 ・すごろくに使いたい写真を考えて選ぶ時間を十分に確保する。 ・写真や写真の裏の紹介文、メモを見ながら選ぶように声をかける。 ・前に出て発表をする際には、立つ位置を足型で示す。発表意欲を高めるようにマイク 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次選択で選んだ写真の紹介文を書く。(A児、C児) ・第一次選択で選んだ写真の発表メモをつくる。(B児) <p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって発表できるように、発表原稿やメモを書き、 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を貼る。 ・すごろくで遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> を準備する。 ・両面テープを剥がすのが難しい児童には、予め剥離紙を少し剥がし、つまみやすくする。 ・ルールを守って楽しく遊べるように、さいころを振る順番を決めたり、遊び方の約束を明示したりする。 ・数種類の指示カードを準備し、指示を取り替えながら楽しく遊べるように工夫する。 	<p>読む。(A・B・C児)</p>
5	<p>【楽しかった思い出編】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事ごとに写真を分類する。 ・分類した写真の中から写真を選ぶ。(第一次選択) A児 2枚選ぶ。 B児 6枚選ぶ。 C児 6枚選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分類するテーマを示す。「運動会の写真」「げんき交流会の写真」等 ・行事ごとに写真を分類し、どのような写真があるのかを認識しやすくする。 ・すごろくに使いたい写真を考えて選ぶ時間を十分に確保する。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次選択で選んだ写真の紹介文を書く学習に取り組む。(A児、C児) ・第一次選択で選んだ写真の発表メモをつくる。(B児)
6 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を選ぶ。(第二次選択) A児 2枚から1枚を選ぶ。 B児 6枚から1枚を選ぶ。 C児 6枚から1枚を選ぶ。 ・写真を紹介する。 ・写真を貼る。 ・すごろくで遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や写真の裏の紹介文、メモを見ながら選ぶように声をかける。 ・前に出て発表をする際には、立つ位置を足型で示す。発表意欲を高めるようにマイクを準備する。 ・両面テープを剥がすのが難しい児童には、予め剥離紙を少し剥がし、つまみやすくする。 ・ルールを守って楽しく遊べるように、さいころを振る順番を決めたり、遊び方の約束を明示したりする。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって発表できるように、発表原稿やメモを書き、読む。(A・B・C児)

			・数種類の指示カードを準備し、指示を取り替えながら楽しく遊べるように工夫する。	
	7	【仕上げ】 ・飾りつけや付け加え等をして楽しいすごろくに仕上げる。	・丁寧に仕上げるように声をかける。	【図工】 ・すごろくの飾りつけに使うものを作る。
遊ぶ	8 9	○すごろくで遊ぶ。	・ルールを守って遊ぶことができるように、遊び方の約束を明示する。	
	10	○活動を振り返る。	・今までの活動が振り返られるように、すごろく作りの様子を記録した写真や完成したすごろくを用意する。	

6 研究主題との関わり

児童の実態に合わせた支援・指導の工夫～楽しい授業を目指して～

○視覚資料（写真）の活用

本学級の児童は、写真を見ることが好きである。これまでも、写真を見ながら楽しかった活動を思い出したり、絵日記をかいたりする学習に取り組んできた。すごろく作りでも、自分がすごろくで使いたい写真を選ぶ活動を取り入れ、児童の意欲を高めながら主体的に学習に取り組ませたい。

7月の自立活動の学習では、自分達の写真入りの「けんこうすごろく」を使って遊び、夏休みの健康的な過ごし方について学習をした。児童にとって、自分達の写真が入ったすごろくは実生活に直結するツールとなり、児童の興味関心を高めることができた。すごろくの中に自分たちの写真がたくさん入ることで、「○○学級オリジナルのすごろく」という特別感を抱きながら楽しく作ることができるのではないかと考える。

○写真の分類

本単元では、「○○さんの写真」「運動会の写真」等と、友達や行事ごとに写真を分類することで、どのような写真があるのかを認識しやすくする。また、分類することで写真が整理され、選びやすくなることに気づかせる。

○自己選択の経験

本学級の児童は、日常生活の中で複数の中から1つを選ぶという経験が少ない。そこで、本単元では、児童の発達段階に応じて、複数の写真の中から自分が紹介したい写真をよく考えて選ぶという場面を意図的に設定したいと考える。一度に1枚の写真を決めるのではなく、まずは第一次選択で複数枚の写真を選び、第二次選択でさらにその中から1枚を選ぶという手順を踏む。なぜその写真を紹介したいのか、理由を考えながら選ぶように促す。自己選択した写真が学級のすごろくになることで、活動に対する満足感や達成感を感じることができるのではないかと考える。

○楽しいすごろくを作る工夫

すごろくの中にストップマスを作り、「自分の名前を言おう」や「友達と握手をしよう」等の指示

カードを貼る。ストップマスを取り入れることで、自分のことを話したり、友達と触れ合ったりして仲良く遊ぶことができるようになる。遊びが単調にならないように楽しい指示カードをたくさん準備し、指示カードの裏にはマジックテープをつけて、指示を取り替えながら楽しく遊べるように工夫する。

○他教科との関連性

すごろく作りでは、児童の実態に即して他教科との関連をもたせた学習活動を展開する。算数では、A児は、すごろくを使って、6までの数を学習している。今後、すごろくのマスを使って色や形、大きさの学習を行う。B児C児は、コンパスや定規を使ってすごろくのマスをかいたり、展開図をもとにさいころを作ったりする。国語では、自分が紹介したいことを「お気に入りカード」に書き、すごろくに貼るようにする。また、すごろくに入れる写真の紹介文を書いたり、発表の練習をしたりする。このように、他教科との関連性をもたせた学習活動を行うことで、児童がすごろく作りを通して多角的な学習を進めることができ、様々な経験ができるようになる。

○授業の流れの明確化

単元全体の見通しがもてるように、拡大した学習予定表を掲示する。また、本時の学習の流れを明示し、児童が見通しをもって学習できるようにする。今、何をやるのかが分かるように、学習の流れに矢印をつける。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

A児	写真を選び、紹介することができる。 楽しくすごろく遊びをすることができる。
B児	写真を選び、その時の様子が伝わるように紹介することができる。 楽しくすごろく遊びをすることができる。
C児	写真を選び、選んだ理由と何をしている写真なのかを紹介することができる。 楽しくすごろく遊びをすることができる。

(2) 本時の展開(6 / 1 0)

学習活動	支援の方法 (全体支援□・個別支援○・評価●)	備考
1. これまでの学習を振り返り、本時の学習のめあてと流れをつかむ。	<input type="checkbox"/> 教室の後ろにすごろくを置き、これまでの製作の過程が分かるようにする。 <input type="checkbox"/> 学習の見通しがもてるように、学習の流れを提示する。また、学習の進行状況が分かるように矢印をつける。	すごろく 矢印マグネット
すごろくにいれたい写真を選んで、紹介しよう。		
2. 提示した写真を見ながら、使いたい写真を選ぶ。	<input type="checkbox"/> 黒板に一人ずつのコーナーを設け、児童が予め選んだ複数枚の写真を提示する。 <input type="checkbox"/> 予め選んだ複数の写真の裏には、国語の時間に書いて	写真

<p>A児 2枚から1枚を選ぶ。 B児 6枚から1枚を選ぶ。 C児 6枚から1枚を選ぶ。</p>	<p>た紹介文（A・C児）やメモ（B児）を貼っておく。 □自己選択の時間を十分に確保する。 ○自分で写真を選ぶのが難しい児童には、写真の場면을思い出させるような声かけをし、2枚の写真から1枚を選ぶようにする。（A児） ○写真や写真の裏の紹介文、メモを見ながら選ぶように声をかける。（B・C児） ○どのような理由で写真を選んだのか、写真の場면을思い出させるような声かけをする。（B・C児）</p>	
<p>3. 選んだ写真を紹介する。 A児 写真を見せながら紹介文を発表する。 B児 メモを見ながら発表する。 C児 紹介文を見ながら発表する。</p>	<p>○前に出て発表をする際には、立つ位置を足型で示し、発表意欲を高めるようにマイクを準備する。（A・B・C児） ○写真の裏に大きな文字で紹介文を書き、読みやすくする。（A児） ○発表メモだけではうまく伝わらない場合には、写真の様子や選んだ理由がみんなに伝わるように、教師が質問をする。（B児） ○自信をもって発表できるように、事前に発表の練習をしておく。（C児） ○写真について簡単なインタビューをする。（B・C児） ●写真を選び、紹介することができたか。（A児） ●写真を選び、その時の様子がよく伝わるように紹介することができたか。（B児） ●写真を選び、選んだ理由と何をしている写真なのかを紹介することができたか。（C児）</p>	<p>マイク 足型カード 写真</p>
<p>4. 選んだ写真をかもめっ子 すごろくに貼る。 A・B・C児 ・写真の裏に両面テープを貼 り、すごろくマスに貼 る。</p>	<p>□写真の裏面の縁に両面テープを貼るように声をかける。 ○両面テープを剥がすのが難しい児童は、予め剥離紙を少し剥がし、つまみやすくする。（A児） □どのマス目に写真を貼るかを考え、友達と相談しながら決めるようにする。 ●意欲的にすごろく作りに取り組もうとしている。（A・B・C児）</p>	<p>両面テープ</p>
<p>5. すごろくで遊ぶ。 ・カードを引いてさいころを 振る順番を決める。 ・引いた順番カードを服に貼 る。</p>	<p>□ルールを守って楽しく遊べるように、すごろくの順番を決めたり、遊び方の約束を明示したりする。</p>	<p>すごろく さいころ</p>

<p>・すごろくで遊ぶ。</p>	<p><input type="checkbox"/>さいころを振る順番が分かるように、引いたカードを服に貼るよう促す。</p> <p><input type="checkbox"/>教師はA児のそばにつき、一緒にすごろくのマスを数えたり、こまを動かしたりする。(A児)</p>	<p>順番決めカード 番号札</p>
<p>6. 学習の振り返りをする。 本時の学習を振り返り、 にっこりマークとがっかりマークから、今の自分の気持ちに近いものを選ぶ。</p>	<p><input type="checkbox"/>本時の頑張りを認め、次時への意欲付けを図る。</p>	<p>振り返りカード</p>